

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成23年12月8日 (2011.12.8)

【公開番号】特開2010-159202(P2010-159202A)

【公開日】平成22年7月22日 (2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-029

【出願番号】特願2009-243671(P2009-243671)

【国際特許分類】

C 0 4 B 28/02 (2006.01)

E 0 1 C 5/06 (2006.01)

C 0 4 B 14/30 (2006.01)

E 0 1 C 11/24 (2006.01)

【F I】

C 0 4 B 28/02

E 0 1 C 5/06

C 0 4 B 14/30

E 0 1 C 11/24

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月25日 (2011.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

骨材として、比表面積が $100 \sim 280 \text{ m}^2/\text{g}$ 、細孔容積が $0.3 \sim 0.7 \text{ ml/g}$ 、細孔半径が $0.01 \mu\text{m}$ 以下の多孔性の活性アルミナを用いた表層部を備えることを特徴とするコンクリート又はモルタル。

【請求項 2】

前記表層部は、骨材とセメントとの合計重量に対して、 $10 \sim 75$ 重量%の活性アルミナと、 $20 \sim 40$ 重量%のセメントとを含むことを特徴とする請求項 1 記載のコンクリート又はモルタル。

【請求項 3】

前記表層部は、セメントに対する重量比で $70 \sim 130$ %の水を加えて混連されたものであることを特徴とする請求項 2 記載のコンクリート又はモルタル。

【請求項 4】

前記活性アルミナは、 - アルミナ、 - アルミナ又はこれらの混合物であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 何れか 1 項記載のコンクリート又はモルタル。